ソ聯樺太國境に警備員二千を增派
增員の動機を調査した上で拓務省で對策考究

（東京二十九日發國通）拓務省ではソヴエートが北樺太國際道路たる國境線近くに國境警備の爲二千名の警備員を增員するとの報に注目し、蘇聯が如何なる動機で增員したか眞相調査の上適當な措置を講ずることとなつて居る

邦人漁夫殺害事件 愈よ調査開始
野口書記生現場到着

（東京二十九日發國通）野口書記生は邦人漁夫殺害事件調査の爲廿七日クロノキ岬へ赴き蘇聯代表チホントと調査上の打合せをなした

飛行機避けの穴倉
連日の雨で陷沒

（北平廿九日發國通）北平軍事分會の廣庭に張學良時代日本軍の飛行機を避ける爲に造られた大倉は、鐵道のレール、枕木を使用して大仕掛に築造したものであつたが連日の雨で地盤がゆるんだものか、本日大音響と共に陷沒し大騷を演じた

北鐵買收成立如何に
ハルピン商業界神經を尖らす

（ハルピン廿九日發國通）東京に於ける北鐵買收交渉の進展と共にハルピン商業界は早くも買收成立の場合を見越して大波瀾を捲き起さん氣配を示してゐる、即ち北鐵蘇聯側從業員は現在六千人に達するが、買收交渉が成立し彼等が一齊に退職する場合は退職金總額千四百萬金留に及び右の退職手當は本國內で支拂れるものと見られて居る又ハルピンに於けるビジネス、センターたるキタイスカヤ街は今日まで北鐵從業員を唯一の顧客として居た關係上、北鐵買收交渉の成行如何は直ちに自分等の死活を制するものであり從て交渉進展に微細な神經を

北滿特別區長官 呂榮寰氏就任式擧行

北滿特別區長官呂榮寰氏の長官就任式は來る七月一日午前十時よりハルピンに於て行はれるが更に同日正午よりハルピン特別市公署開廳式及び呂市長の市長就任式が行はれる續いて午後三時より開廳並に呂榮寰氏の長官及市長就任の祝賀宴が催される筈尚、中央政府よりは國務總理代理丁交通部總長、參議府より張景惠議長、筑紫參議、臧民政部總長、竹內民政部總務司長、坂谷總務廳長等各要人が右各式典並に祝宴に參列する筈

買收讓渡問題
兩國の主張相當の隔あり 第三次會商注目さる

（東京三十日發國通）北滿鐵道買收交渉は愈々來る七月三日に行はれる第三次滿ソ會商に於て買收讓渡問題に關し具體案を提示されることになつてゐるが、右に對する滿ソ兩國の主張と態度は次の如く相當隔りを存するもので一致點に到達する迄には相當曲折を經るものと觀られる

△滿洲國側の主張

一、北鐵は帝政ロシアにより建設された當時に於てこそ極東侵略のための唯一の足場として政治、軍略上頗る重大なる意義を有したりしも現在では斯の如き意義を全く失つてゐる

一、北鐵の經濟價値も滿洲國で同鐵道の並行線若くは縱斷線を縱横に建設せんとしてゐるため將來全く立枯れの狀態になるは明瞭であり現在既に毎月二三百萬ルーブルの缺損を生じてゐる

一、北鐵の建設費は總額四億ルーブルに達してゐるも、右は純然たる軌道の建設費に限らず都市、學校等の地方經營費も包含してゐる、而して現在は車輛、軌道其他腐朽に任せ何等の修理も加へてゐない

一、北鐵買收の曉には現在のゲーヂ五呎を滿鐵のゲーヂ四呎八吋迄に縮少するを要するから價格の減少を見越さねばならぬ

△蘇聯側の主張

一、北鐵賣却は滿洲國から蘇聯側の勢力が事實上撤退するものなるは明らかなるも其の代り沿海州、北樺太等に於る蘇聯側の政治經濟上の治安保障を求む

一、北鐵の經濟狀態は最近の世界的不況を以てしても充分採算がとれ、有利に經營する事を數字を擧げて說明し得る

在滿朝鮮人の現狀（六）
關東憲兵司令部發表

3、本溪湖第六區上達貝溝に所有權者判然せざる鮮人農耕地三千畝（一畝約百八十坪）あり、該土地に關し同地居住滿人王寶興は民國十六年頃官有地なりしを自己が買收せるものなりと主張し、一方鮮人等は鮮人申濟泰の所有なりと主張し、何れも讓らず王寶興の小作料請求に應ぜずして數年來係爭を續けつつあり當局に於ても所有權者明瞭ならざるにより容易に解決し得ず未解決の儘推移し同地滿人對鮮人相反目しありたるが本年も農耕期に入り鮮人農耕に從事するに至れるを以て王寶興は之を阻止すべく三月卅一日以來鮮人と口爭を續け遂に四月二日午後十一時頃滿人王寶興は棍棒を所持せる滿人十餘名を率ひ第六區內石洞溝居住鮮人金錫集及趙昌均宅に闖入し、家屋前に堆積せる高粱稈に放火すると同時に合せたる十數名の鮮人を棍棒にて毆打し重輕傷を與へ更に家屋二棟を燒却何れにか逃走せり、而して本件發生するや同地鮮人金熙元外四名は石橋子警察官吏派出所に出頭保護方願出たるに依り本溪湖より警部補以下巡査二十二名、醫師一名、本溪縣警察隊二十一名を憲兵指揮の許に四月三日現地に出動被害者の救護及事件の眞相及犯人の搜査に任じたるが犯人は遂に發見するを得ず、憲兵は四月四日、警察官吏は四月九日各原所屬隊に歸還せり

（八）不逞鮮人の概況

滿洲事變以來日滿軍の討伐に依り不逞鮮人は漸次その活動を封鎖せられ最早朝鮮獨立の覺束なきを觀取し第三インターの主義に轉向し、或は滿洲省委と提携し或は上海北平方面の不逞團と連繫し以て收攬兵及馬賊に呼應し赤露黨員の後援を得、良民殺戮掠奪、日滿人官の暗殺陰謀、鐵道の破壞等を企圖し暴虐を極め漸次匪賊化するに至れり、之等活動の主なるものを揭ぐれば次の如し

一、武藤大將初め日滿要人暗殺の爲昨年十月中旬より十數組の暗殺團員を北支方面より滿洲各地に潜行しある情報ありたるに十二月廿四日奉天及新京に潜伏中の一味の不逞鮮人朴敏況外四名を憲兵に於て逮捕し取調の結果一月六日關東軍臨時軍法會議に送致せり

印度關稅引上げは日英親善に惡影響
石井全權英外相訪問注意喚起

（東京廿九日發國通）外務省着電＝石井全權は二十七日英國外務省にサイモン外相を訪問し英殖民地や屬領との關稅引上げ問題に關し注意を喚起し、日本國民の對英感情を刺戟し、日英通商關係惡化し多年の日英親善關係の動搖を與へるものあり反省されたしと述べたるに對し、サイモン外相は印度國內の財政事情は英政府でも干渉し得ず、英政府は印度をして措置をとらしめたのでなく、海峽殖民地も同樣だと辯解して誠意を示さなかつた、さ外務當局は右の遁辭に不快を感じ對策考慮中である

シムラ會議派遣の民間代表人選は銓衡委員に一任

（大阪廿九日發國通）輸出綿糸布同業會は正午理事會を開きシムラ日印會商の民間代表人を協議し東綿日綿伊藤忠江商豐島の各銓衡委員一任となつた

日本品ダンピング會議の俎上に
我代表部對策考究

（ロンドン廿八日發國通）非公開會議を續行中の通商障害に關する起草委員會席上で日本品の爲替ダンピングに關する問題が論議に上つたが、此日本品廉賣問題は何れ何等かの形で會議の表面に現はれるものと豫想されて居る、而して此問題が愈々表面化される場合には日本は厄介な立場に置かれる怖れがあると豫想されるが、代表部では之が對策として

一、此問題が表面化された場合日本品の廉賣は國內の製產條件によるもので決して不當廉賣の性質を有しない點を力說すること

一、一方問題が表面化することを極力防止する事に努めこれが爲には日本が起草委員會に參加し得る樣な手段を執ること、の二つである

元來廉賣問題は既にジユネーヴに於る準備委員會當時から日本品に對し鉾先が向けられて居るので其背後には海外市場に於ける日本品進出に惱まされて居る英國の策動が存在してゐるものと推測されて居る

李濟琛軍の處理問題
黃郛窮地に陷る

（天津二十九日發國通）停戰協定成立後に於ける李濟琛軍の處置問題については、其後非公式に種々『交渉』が進められてゐたが、兹二週間內位に右問題の解決を見ざる場合は、黃郛も北支收拾の全責任を負ふて立つた面目上、手を引くの已むなきに至るべしと見らるるに至つた即ち蔣介石、王精衞等南京政府要路を始め上海財界東南方の空氣は漸く直接交渉により日支諸問題解決進んで日支提攜に向はんとする空氣濃厚となりつつあり、終に黃郛の北上を見るに至り停戰協定の成立を見るに至つたが、李濟琛軍處置問題の遲延に乘じ、抗日派は黃郛排斥を策動しつつあり、一方南方要路又やうやく同問題の遷延に黃の北支收拾の手腕に對し疑惑を懷くに至り終に最近黃は頗る苦境に立つに至つたものである然し目下黃並に何應欽は于學忠の同意を得て接收委員會を『組織』し、之が解決に必死的努力を續けつつあり、問題は或は急轉直下解決を見るやも圖り難いが、何れにせよ李濟琛軍處理問題を中心に兹一、二週間の黃郛の進退は頗る注目されて居る

新京ハルビン間 滿鐵直通電話開通

滿鐵では從來ハルピン新京間に直通電話がなく種々事務上支障を來す場合が多かつたが今回交通部所屬新京ハルピン間電話中繼線一本を借受け七月一日より使用し、事務の連絡に萬全を期することとなつた

交通部で起草中の自動車交通規則近く成案

交通部では國內自動車激增に鑑み自動車交通規則を起草中であるが立法の根本方針は左の如くである

一、自動車以外の交通機關との競爭を避け

一、各地交通機關の連絡線及び自動車線を必要とする線を許可す

一、自動車線相互間の競爭を避け

近く法制局に廻附その審議を終へ公布を見る筈で、之により從來各省各市に於てそれぞれ勝手に行はれて居た自動車規則も完全に統一整備される譯である

天津總領事 桑島氏に歸朝命令

（天津廿九日發國通）今朝外務省より天津總領事桑島主計氏に對し歸朝命令が到着したので同總領事は最近の船便を得て出發することとなつた

矢崎高級參謀
北平の灯 見ゐる處から來た（三）
勇士に聖戰を聽く 地雷火にはね飛さる

記者　貴部隊は敵の地雷にかゝつて大分犧牲者が出た樣に傳へられてゐるが本當ですか

高橋軍曹（饒江部隊）　四月十四日頃喜峰口から受益店方面に向け灤河街道を夜行軍した一ケ小隊が最初の敵地雷にひつかゝり三名戰死、五、六名負傷した、それから二、三日經て矢崎高級參謀殿が灤河方面の戰線を視察後五名の傳騎を引連れ司令部に歸來の際同樣此の難に遭遇された、然し天祐とでも云ふのでせうか前行の傳騎が一大轟音と共に馬諸共跳飛ばされ續く高級參謀殿も赤砂塵を浴びて横倒しとなつたが、馬が臟腑を出して無慘な死を遂げたに拘らず二人共微傷だに負つてゐなかつた

その他五月十日頃やはり灤河橋附近で將校斥候に出た國清少尉殿がやられ、この時は地雷の響音に敵は一齊射擊を開始し一時危かつたが少尉殿は身を以て難を免れる事が出來た全般的に見て傳へられる樣な大なる損害はなかつたが相當惱まされた事は事實です

花山軍曹（工兵隊）　頭々さして地雷遭難の報に接し上官から障碍物除去の命を受け十餘名尖兵として北平街道を進んだ、途中敵の射擊を受けること數回に及び佐藤上等兵外數名の重輕傷者を出したが首尾よく目的を達し、四十八個の地雷を掘り出して意氣揚々引上げた時は愉快この上もなかつた裝置はかなり新式のものでまともに受けたらタンクでも相當被害を受けるだらうと思つた、地雷の外に迫擊砲や手榴彈を布設し電線で交流し大なる破壞力を持つ樣に仕懸けてあつたのには驚いた

記者　關內に於ける主なる戰鬪の模樣を承りたい

川梨軍曹（宮本部隊）　五月十三日から開始された龍井關の攻擊は三日間白兵戰に次ぐ白兵戰で日本刀と青龍刀の斬合ひ、手榴彈の投合ひで終始した、私は安達中隊に所屬して中央突破を敢行したのだが食糧がなくなり敵の殘した饅子を食ひながら前進した第一、二、三の高地は掩蔽の機關銃からは間斷なく猛射を浴びせてくる、先づ此奴等を沈默させねばならぬと十餘名の決死隊が腹這ひ第二高地に接近し手榴彈を投げ込み喊聲を揚げて殺到した、敵は狼狽青龍刀片手に飛び出して來たが我兵の銃劍子のお蔭に片つぱしから串ざしにされた、左翼に松野尾、右翼に米山、中央に宮本各部隊堂々たる堅陣を張り激戰の後第三高地を占領したが、高地一帶數百の敵死體が散亂してゐた

三間上等兵（宮本部隊）　白兵戰の最中私は敵に銃劍を握られたのでそれつとばかりにいい氣持で串指しにした刹那後から青龍刀で鐵帽をガアンとやられた「失策つた」と帽を上げ手をやつて見るとベツトリ滲じむものがある、思はず目がくらくらとした、落付を取戻して掌を見ると血ではなくて汗だつたのには我ながら冷汗だつた

その日く

□ ソ聯樺太國境に警備員を增員

□ 警備とはそも何？

□ あすから牛ドン、滿洲國、滿鐵ともに居殘る由、非常時はなほつゞく

□ 馬占山の遺逆產競賣に附さるかつて滿洲國軍政部總長たりし人たるなり

□ 墨染の袖をまくりあげて相反目してゐた新京佛敎團伊藤師の調停で納まる穴かしこ／＼

人事往來

▲安達中佐（滿鐵軍線區司令官）二十九日午後三時二十五分歸京
▲伊藤海軍大佐（軍政部顧問）同上
▲宇佐美寬爾氏（奉天鐵路總局長）同上
▲朱之正氏（天津外交部總務司長）二十九日同上
▲宇佐美少將（〇兵〇團長）二十九日午後四時三十分奉天へ

團体

▲新渡戶稻造氏（法學博士）二十九日午後七時五十分來京
▲丁交通部總長三十日午前八時四十分ハルピン
▲本池中佐（第〇〇團）三十日午前八時四十分ハルピンへ
▲斯波顧問（滿鐵）二十九日午後十時南下
▲瀨田二等軍醫正外十五名（新設拉哈衞戍病院長）二十九日午後七時五十分來京

けふの銀相場

鈔票對金票	一〇三・九〇
現大洋對金票	九九・四〇
國幣對金票	九九・五五
國幣對鈔票	九五・四七

あすから 半ドンだが非常時の反映
滿洲國も滿鐵も 實際の仕事は四時まで

いよ／＼滿洲の最灼熱期七月に入るやうになつたが恒例により七月一日より滿洲國政府の執務時間は午前八時より正午までの四時間に『短縮』滿鐵では午前八時より午後三時までの一時間短縮となる、このところ滿洲國官吏、滿鐵社員萬歲の感がある、しかし滿洲國側は建設匆々であり事務多忙の爲、半ドンも何のそのとばかり、居殘りをするとの意氣込む科もあり、滿鐵も熱練者が鐵路總局に轉勤した今日歸るのは從前通り四時まで頑張り『仕事』をすると云ふ者が多く非常時の反映が如實に現はれてゐる

日本の任俠道と提携 無智の匪賊を說服
家裡代表昨朝日本に向ふ

「家裡にも任俠が御座る」と日本の要路及び任俠道と提携し無智蒙昧なる匪賊を仁義の道で說服し王道滿洲國のため一肌ぬがんと二十八日午前九時發朝鮮經由渡日した全滿在裡、在家裡六百萬の代表は七月一日午前八時三十分東京驛着直に關係方面を歷訪、懇談する筈であるが彼等が神秘的な結社力をもつて全滿に散在する匪賊を誘導し正業に就かしめんとする企ては識者に好個の話題として刮目されてゐる

尙ほ渡日代表者は次の如くである

△奉天側 家裡會員奉天聖道理善研究總會々長祖憲庭（在裡）、王兆床（在家裡）、馮諫氏（在裡）、張新甫（在家裡）

△營口側 郝相臣（在家裡）、

△新京側 呂禹賓（双方）、常王清（双方）

△吉林側 依權（在裡）、郝文奎（在裡）

△ハルビン側 趙慶祿（双方）

右の外鷲崎研太郎、平野武七吉村智正三氏が隨行した

滿鐵線警備員
希望者六百五十名 一日に學科試驗

新京鐵道事務所では例年通り高粱繁茂期に際し、臨時警備員を管內に配置し『匪賊』の襲擊に備へる事となつてゐるがこの警備員の希望者は先月頃からボツ／＼現はれ、三十日には六百五十名余に達した、この中採用さるる者は百名で約六倍半の申込者があるわけで、鐵道事務所では『募集もしないのによくも集つたものだ』と驚いてゐる學課試驗は七月一日午前九時より新京商業學校で行はれる筈であろ、警備員には在郷軍人を『希望』し、日給一圓五六十錢支給することゝなつてゐる

地方事務所優勝
滿鐵ボール大會終る

新京体育聯盟主催の滿鐵社員ボール大會は先月來連日引續きリーグ戰を以て行はれてゐたが最後の榮冠を獲ち得る新京鐵道事務所對新京地方事務所の優勝戰は二十九日午後四時から滿鐵クラブ部コートで舉行、双方火花を散らし三對二で地方事務所の勝利に歸した

早大庭球選手來京

早大庭球硬球部選手一行七名は三十日午前八時來京、直ちに滿鐵社會主事野村茂理氏方に入り[illegible]新京軍と對戰した

荒木所長
水源地檢分

荒木新京地方事務所長は最近水道事故多きに鑑み二十九日午後二時半山內地方係長、松田水道主任と共に第四水源地の工事狀況並びに其他水源の檢分に赴いた

ゴルフ場近く 滿人縊死

西公園ゴルフ場西側密林中の木の枝に繩を吊るし滿人三十七歲前後が縊死してゐるを通行人が發見し直に新京署に屆出た、同署から倉田司法主任以下係員急行檢視の結果覺悟の自殺と判明したが身許不明である死体は首都警察廳に引渡した

佛教團のゴタゴタ 圓くおさまる
長春寺伊藤和尙の調停で

一昨年事變突發當時西本願寺主任南部法電師は、自ら感ずるところありとし、新京佛教團を脫退し單獨行動を採る旨を當時新聞に廣告し爾來今日に至るまで、共同動作の際は頗る面白からざる行動に出たため、心ある各宗信徒は大に憂慮してゐたが、今回南部氏後任光岡師來任するに及び、同人和合を標榜する宗教家が斯る狀態にあるは甚だ遺憾とし自ら求て大連以來知り合の關係にある長春寺伊藤和尙を訪ひ從來通り、佛教團加入を申込んだ爲め、伊藤和尙は茲に、各宗住職に光岡師の心情を訴へて、斡旋し、圓滿調停成立し今後は新京六ヶ寺（東西兩本願寺禪宗、淨土宗、眞言宗日蓮宗）互ひに協調社會のため奉仕する事となつた

學校を通じ家庭へ 水の節約宣傳
まだ當分斷水がつゞきそう 心細い係當局の辯

豪雨のため故障を來した水源地工事は全力をあげて復舊に努めた結果漸く出來上つたが、なほ濁水の除去、消毒その他の跡始末がつゞいたゝめ水の出が至つて惡しく、大體明一日中には完全に恢復する『見込』みで長引けばなほ二、三日間斷水せなければならない狀況である、これがため滿鐵水道係當局では工事の完成を急ぐ一方此際お互に使用水の節約をはかつて貰ひたいといふので各中等學校、各小學校の生徒兒童を通じて一般家庭へ徹底させるなど大童に宣傳に着手することになつた、右について松田水道係主任は語る

なるほど仰せの通りで用水に不足してゐるから、これ以上節約の余地はないといはれる方もあらうが、中にはこれほどの水拂底に拘らず『平氣』で水栓を開け放してそのまゝでゐられる方も隨分見られるやうです、何分工事は今秋十一月末にならねば全部完成するまでに至らず、それまでには逐次出來上つてはゆくものの、人口の增加は一層急進的ですから此際決して冗費のないやう切にお願ひしたい

大同、利民の 二砲艦の進水式

滿洲江上の護り大同、利民の二砲艦の進水式は二十七日午前十時卅分松花江東北造船所に於て執政府御差遣の侍從武官金上將、張景惠軍政部總長小林駐滿海軍司令官等、日滿諸名士五百餘名參列、盛大に擧行された（寫眞）は精銳利民（右）大同（左）の二砲艦

新賓縣附近の 匪賊騷ぐ

（奉天廿九日發國通）匪賊が共產黨員と合流し、近く新賓縣城を襲擊するとの流言頻りに傳はりたる爲め縣警察當局は同地駐屯の日本軍と連絡警戒に備へたところ二十七日午後右匪團は縣城を襲擊せず附近部落滿人豪農ヶ襲擊し金品を掠奪の上農家八戶に火を放ち三名を人質として拉致何れにか逃走した、急報に接した警備當局は直ちに出動したが流言流布された折柄とて一時は大騷ぎを演じた

武藤司令官 巡視

武藤關東軍司令官は新配置に就いた各部隊の軍規、風紀の狀況を巡視する事となり三十日午前九時から小磯參謀長以下各幕僚を從へ新京警備隊、獨立守備隊、衞戍病院等の巡視を行つた

大相撲の初日 二日後に迫る
トーナメント式の試合に 興味は愈よ繫がる

いよ／＼來る二日の初日新京聖德會の勸進元で新京神社境內に舉行される東京大相撲協會玉錦一行の角力は非常に前景氣が煽りたてられて居り當日の盛況が豫想される、就中興味の中心となつてゐるトーナメント戰は果してどの力士が優勝して榮へある栗原總領事寄贈の大カツプを獲得するかその組合せと體格、得意のワザを檢討して勝負を算出してみるのも興味があらう

△大郎山二十六歲五尺八寸六分、二十四貫四百、得意は上突張り、吉野岩、二十八歲九尺六寸七分二十一貫六百左四ツ櫓

△綾櫻三十六歲五尺六寸二十六貫地四ツ寄切、土洲山三十歲五尺九寸六分二十五貫右上手投出し

△若葉山三十九歲五尺七寸六分二十七貫双筈寄の、海光山三十六歲五寸八寸三十二貫左四ツ寄、突出し

△新海三十歲九尺七寸五分二十六貫右四ツ外掛、出羽ヶ嶽三十一歲六尺六寸六分四十九貫三百小手投げ鯖折り

△沖津海二十四歲五尺八寸九分三十一貫左四ツ下手投げ大郎山三十三才五尺九寸二十七貫右四ツ上手投げ

△第一回の大郎山吉野岩との勝者と組合せられる鏡岩は三十二才五尺七寸三十貫二百右四ツ寄り

△若瀨川三十一才九尺五寸三分二十二貫七百突張り押、和歌島二十八才五尺八寸二十七貫右四ツ上手投げ

△寶川三十四才九尺七寸二十五貫右四ツ下手投、越の海二十八才五尺六寸六分二十二貫五百左四ツヤグラ

△清水川三十四才九尺八寸八分二十七貫八百右四ツ上手投げ幡瀨川二十九才五尺六寸二分二十二貫九百突張り足癖、これから先が

△第十回は先の第二回と第三回つまり綾櫻對土州山、若葉山對海光山の勝者が組む第十一回は第四回の新海對出羽ヶ嶽、第五回は沖ツ海對太郎山の勝者が組み・第十二回は第一回の大郎山對吉野岩の『勝者』と第六回の鏡岩と組んだ勝者對、第七回の若瀨對和歌島の勝者が組み、第十三回は第八回の寶川對越の海の勝者と第九回の清水川對幡瀨川の勝者が取組む、斯くて第十四回は第十回と第十一回の勝者が對戰し第十五回は第十二回と第十三回、勝者が取組みこの第十四回の勝者と第十五回の勝者がいよ／＼爭覇となる段取りである

大ハルビン市 自治委員會を組織
各國人が市政に參加す

ハルビンには從來

一、哈爾賓特別市政公署

二、東省特別區市政管理局

三、濱江市政籌備處

四、濱江縣公署

五、松浦市政局

の夫々獨立せる五個の行政機關が亂立して行政上繁雜を極めて居たが、今回之が統一されて哈爾賓特別市政が布かれ吉林省阿城縣の卅一屯黑龍江省の呼蘭縣十屯が之に『編入』され、此處に大哈爾賓市が誕生する事となつた、特別市政施行によつて特別區の行政統制も市政改善容易となり、哈爾賓市將來の發展上劃期的な刷新である、更に北滿の國際都市としてハルビン市自治委員會も組織され、國籍の如何を問はず在留市民は自由に市の行政に參加し得る事になつた、尙ほハルビン都市建設に就いては目下上下水道計畫、河川土木事業も調查研究を進められつつあり、之が完成の曉には衞生上のみならず、江防艦の配置と相俟つて治安維持にも一大進步を遂げる事になる、かくてハルビン市『今や』は滿洲第一の商業都市としての將來に向つて巨步を踏み出し、市民は希望に燃えて居る

新京滿鐵醫院
初つて以來の患者 赤痢は一日八人平均 各個人々々の注意が第一

傳染病患者の數が日日に增加し、特に赤痢の發生は著しく一日八名を下らず市民をおびえさせてゐる、新京滿鐵病院傳染病棟はこれがため大入滿員の狀況で、現在迄の總入院患者は三百二十九名で同病院設立以來の新記錄を示した、この內傳染病患者は百二十七名の多きに達してゐる內赤痢八十八名を筆頭に、チフス十六名、猩紅熱十四名、その他九名である、今傳染病發生系統を見ると赤痢は六日から眞夏にかけてが一番多く發生し、續いて赤痢の鎭まるころから秋にかけチブスが發生續いて冬に入り猩紅熱が發生するが順序となつてゐる、然るに本年は赤痢の發生期にチフスが續々發生してゐることから見ると相當チフスが發生するものとみられ各個人々々の注意が何よりも肝要である

范家屯邦人殺し 共犯者捕はる
犯行後實に五年目で 憲兵分隊の殊勳

昭和四年夏、范家屯特產商山崎情次氏當時四十六歲夫妻が强盜に襲はれ慘殺され大金を强奪され當時、市民を戰慄せしめた事件があり、以來所轄新京署では署員の大活動をなし極力犯人搜查に努めたが杳として逮捕するにいたらず事件は迷宮入を傳へられてゐた今日殺害の共犯者當時見張をしてゐた滿人從範が新京に潛伏してゐるを新京附屬地憲兵分隊が探知し二十七日未明犯人の隱家を襲ひ逮捕した、目下同隊では主犯者を搜查中である

移民教育 視察に
中島氏が來京

文部省農業教育課長中島靈圓氏は滿洲國移民教育並に學事視察のため三日午前九時四十五分來京の豫定である

蟋蟀研究で 近く博士に
大町桂月氏令息

（東京廿九日發國通）大町桂月氏の次男文衞氏は大正十年東大農學部を卒業、研究室で蟋蟀を研究し此程農學部宛て『蟋蟀の染色体の比較研究、其の分類との關係に就いて』の學位論文を提出、近く博士號授與の見込である

天津邦人の コレラ騷ぎ

（天津卅日發國通）邦人にコレラ發生と騷がれた昨報の疑似患者は最近檢査の結果全然コレラでないこと判明、當地民團でもホツとしたが之を機會に一層防疫に努めることになつた

（天津二十九日發國通）天津特別第三區錦路神州陶磁器業工廠の犬養重一氏は傳染病の疑あり、本日診察の結果擬似コレラと判明、同工廠の大消毒をすると共に時節柄各租界への蔓延を怖れ極力豫防に奔走してゐる

憲兵分隊前廣場に 滿鐵理事公館建設
今年十一月竣成

豫て計畫進捗中だつた新京滿鐵理事公館は愈々滿鐵舊グラウンド（憲兵分隊前）に新築される運びとなつた、工費五萬四千圓葛井組落札、目下工事に着手すべく材料運搬中であるが建坪五百卅一平方米坪、地下室を備へた煉瓦二階建の結構堂々たるもので十一月迄には竣成の豫定である

奉山線列車顚覆は 匪賊の仕業か
守備隊出動追跡す

（奉天二十九日發國通）昨朝奉山線の列車顚覆事件は午前十時二十分百十二號旅客列車が營盤、高橋間を運行中レールの大釘を取外してあつた爲め脫線顚覆したもので右犯人は附近の匪賊の仕業らしく錦州よりは救援列車を急派すると共に匪賊追擊のため守備兵〇〇〇名が急遽出動した

明大決勝 對全奉天戰
7A—0

（奉天廿九日發國通）滿洲遠征明治對全奉天試合は二十九日午後四時五十分より奉天滿鐵球場に於て奉天先攻にて大野（球）平野、川越（壘）三氏審判にて開始結局七A對〇に明治快勝閉戰七時

バツテリ 奉天 小島、田村、藤浪 明治 八十川、小林、追畑

スコアー

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
奉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明	0	1	2	2	0	0	1	1	A	7A

本壘打 追畑（明）

二壘打 追畑、久保田（二本）（明）大森（奉）

殘壘 明治八、奉天八

ラジオ欄

七月一日（土） 新京

奉天後四、〇〇レコード 相撲 商業通信社

新京後四、三〇演藝

同 後五、〇〇講演又は時事解說

同 後九、三〇ニュース（滿洲語）

東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯

新京後六、二〇演藝又は講演

同 後七、〇〇ニュース（英語）

同 後七、一〇ニュース（露西亞語）

同 後七、二〇ニュース（朝鮮語）

同 後七、三〇氣象豫報、放送局編輯

同 後八、〇〇—八、三〇演藝

東京後八、二〇—八、三〇時報

同 後八、三一—八、四五ニュース東京中央放送局編輯

幕末異聞

愛慾火箭（あいよくひや）

作 瀧川駿
畫 村瀬洗舟
(禁上演上映)

(九十九)

夜鴉籠の客(一)

海面より低い町。

本所、深川の文久當時は未だ海面より平均八尺低かつた。

縱川(竪川)、横川、小名木川を掘つてもまだ土地が、濡れてゐて濕つぽいので、横十間、縱十間の川を掘つた。それでもまだからッとしないので今度は、南割下水、北割下水を掘つたのだが、容易に確然しなかつた。

口さがない、山の手の兄イ衆が『本所に過ぎたるものが二つあり、四つ目の牡丹に、津輕大名』なんて言はれる程ごみ〳〵した處だつた。

だが本所にも、そんな處ばかりでなく、鶯啼かねど小梅の里と言ふやうな洒落た所もあつた。

水戸中納言の別邸、續いて本多彈正の邸。それから三圍神社の邊りから、櫻餅、言問團子の茶店、遠くは白髭の牛の御前から百花園にかけての一際。俗に向島と言ふ所なのである。

小梅、須崎、請地、中の鄕をひつ括して向島と呼んだ。その向島には瀟洒な建物が並んでゐて晝夜となく絃歌のなまめかしい響きが洩れてゐた。

枕橋を渡つて左へ折れた處に、黒船騒ぎ以來、永らく閉鎖されてゐた向島の新銭座(鑄銭所)に、毎日むく〳〵と煙が昇つてゐた。それは俄に大筒(大砲)の鑄造所に變つたからである。

葉を落した言問の櫻堤に、宵闇の忍び寄る頃、大川橋を渡つた一挺の駕籠があつた。

その駕籠が丁度、細川采女樣の邸を左へ、大川傳ひに枕橋を渡つた頃ほひ。

水神の森の料亭、八百松を出た人影があつた。夜のとばりに物のあやめも見えかねる頃とてはつきり何人とは解らないが、夥しい人影、ざつと三十人位らしい。

思ひ〳〵に面を深く包んだ、目ばかり頭巾。

櫻の木立の間を縫つて行く駕籠を目懸けて、覆面は土堤へぴつたり寄り添つた。そして呼吸を殺してゐた。

とは知らない夜鴉籠は、ひた〳〵と俗に言ふ向島の堤を走つてゐる。——

三圍神社の常夜燈の外、あかりと言ふものが一つもない大川端。

さッと駕籠の行く手へ飼ひ寄つた黒い影。

『えい!』

足を奪られて、前棒はどしんと倒れた、と同時に駕籠の先端がどんと土に着いた。

夜鴉籠の客は、はたき落されて雨上りの泥濘にまぶれた。

心得のある男と見えて、その客は駕籠を楯に取つて、ぢつと闇の中を透かしてゐた。

がさ〳〵と土堤へ駈け登つて來た刺客は、ぐるり駕籠を取卷いてしまつた。

後棒の駕籠舁は、何處へけし飛んだか姿が見えない。足を斷られた前棒はぬかるみの中で、七轉八倒を文字通りに行つてゐる。

駕籠を中に挾んで、堤に殺氣が漲つてゐた。

丁度この時分、水神河岸に屋形船を着けた、お角力の衆があつた。

森掛所も近い事とて景氣が良い。

幇間、舞妓をひきつけて、堤へ登つて來た。

『あれえ、人が!』

この樣を、目敏く見附けた一人の舞妓が驚いた。

『あら……』

皆なその方に目をとられた。

『ようし、おいどんが助けて上げやうわい』

關取が近寄つた。醉つた元氣もあらうが、弱い者を女の前で助けて見たいのが人情。

これは今兩國で名高い花形力士の佐渡ケ嶽の千代松だつた。

『おうい、待たんかい』

俄に起つた、銅羅聲に刺客は思はず振り返つた。

六月 閏五月 九日 / 一月 / 日
土曜 戊辰 友勝 開 氏宿

五 (九星圖)

● 一白の人 進退困難に陷る事あり起業計畫皆論移轉凶 乙と辰と酉が吉
● 二黒の人 運氣平穩なれども安心に過ぎ輕卒なれば凶 丁と庚と丑の吉
● 三碧の人 最初の難澁も次第に解けて良好に向ふべし 乙と丙と壬が吉
● 四緑の人 得る所あれども失ふ所も多し取引大に注意 辰と壬と癸が吉
● 五黄の人 守備を嚴にして妄りに進まざるに安全の日 丙と酉と丑の吉
● 六白の人 求めずとも得るに難からず運氣展開する日 未と辛と艮が吉
● 七赤の人 運勢頗る旺にして萬進みて効果を揚得べし 申と庚と亥が吉
● 八白の人 遠路の疲勞も目的地に近づきて元氣恢復す 丙と辛と壬が吉
● 九紫の人 心の平靜を失はず客氣に逸らざれば大吉日 己と丙と丁が吉